

研究・調査報告書

| | | |
|--|--------|--------------------------|
| 分類番号 | 報告書番号 | 担当 |
| A-169 | 21-014 | 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之 |
| 題名 (原題/訳) | | |
| <p>What is associated with the increased frequency of heavy episodic drinking during the COVID-19 pandemic? Data from the PAHO regional web-based survey</p> <p>COVID-19 パンデミック下において大量飲酒の増加と関連する要因は何か？PAHO（汎米保健機構）の Web 調査データを用いた検討</p> | | |
| 執筆者 | | |
| Valente JY, Sohi I, Garcia-Cerde R, Monteiro MG, Sanchez ZM. | | |
| 掲載誌 | | |
| Drug Alcohol Depend. 2021 Apr 1;221:108621. doi: 10.1016/j.drugalcdep.2021.108621. | | |
| キーワード | | PMID |
| アルコール、不安、大量飲酒、COVID-19、メンタルヘルス、隔離 | | 33636598 |
| 要 旨 | | |
| <p>目的： COVID-19 パンデミック時のアルコール摂取に関するラテンアメリカおよびカリブ海諸国の飲酒者における大量飲酒（heavy episodic drinking：HED）頻度の変化を推定し、HED の頻度増加に関連する要因を評価することを目的とした。</p> <p>方法： 2020/3/22～6/30 に汎米保健機構（PAHO）がラテンアメリカとカリブ海諸国の 33 カ国で実施した横断調査の参加者 12,328 人（18 歳以上）のデータを使用した。2019 年および 2020 年の COVID-19 流行下における飲酒習慣を調査し、2019 年時点における飲酒者（9554 人）を HED（5 drink/回以上）頻度の変化により HED なし/変化なし/減少/増加に分類した。ロジスティック回帰分析を用い、社会人口学的特性、隔離の実施、不安症状による HED 頻度増加のオッズ比（aOR）、95%信頼区間（CI）を算出した。</p> <p>結果： 2019 年の飲酒者のうち COVID-19 流行時の HED を自己申告したのは 65%であった。そのうち、33.38%は HED が減少、13.8%は HED が増加していた。多変量解析では、男性（aOR 1.29, 95 %CI 1.13; 1.49）、高収入（aOR 1.64, 95 %CI 1.35; 1.99）、隔離の厳しさ（aOR 1.10, 95 %CI 1.04; 1.16）は HED 増加リスクが高かった。一方、失業（aOR 0.78, 95 %CI 0.64; 0.96）、身分が学生（aOR 0.53, 95 %CI 0.43; 0.64）、子どもと同居（aOR 0.91, 95 %CI 0.84; 0.99）では HED 増加リスクが低かった。また、パンデミック時の不安症状が強いほど HED 増加リスクが高かった。</p> <p>結論： COVID-19 の蔓延を減少させるための対策において、飲酒を減らすための対策や精神疾患への対応を盛り込むことも重要であると考えられる。</p> | | |